

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和6年度	会計コード	22	土地区画整理会計	事業コード	38109	
事業名	篠路駅東口地区土地区画整理費						
評価担当課	所 属	都)市街地整備 開発指導課			電話番号	011-211-2657	
施策名	都市空間の種別に応じた土地利用と四季の変化が感じられる良好な						
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外						
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理費			
	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助・助成 ○ その他						
事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	本地区は、JR線による東西分離、横新道の慢性的な交通渋滞、駅東側の駅前広場をはじめとした社会基盤のぜい弱性、低未利用地の散在などの課題を抱えている。 それらの解消を目的として、鉄道高架事業と土地区画整理事業を柱とした「篠路駅周辺地区まちづくり実施計画(平成26年度)」に基づき、令和2年度に事業認可を取得し事業着手した。 その後、当該エリアの土地活用や地域主体のまちづくり活動の方向性を示す「篠路駅周辺地区まちづくり計画」(まちづくり政策局)が令和5年度に策定された。					
	事業内容(何を実施し)	施行面積約5.1ha、施行期間R2～R12年度、総事業費約25億円 【事業内容】 ①調査設計…事業計画、換地設計、測量、実施設計等 ②工事…都市計画道路、区画道路、公園等の整備 ③移転補償…事業に支障となる家屋・工作物の補償等 ④先行買収 【令和6年度の実施結果】 調査設計、工事、移転補償を進めた。 第4回仮換地指定を令和6年7月5日に行った。					
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	土地区画整理をはじめとした公共による基盤整備により、定住人口・交流人口の増加や利便施設等の立地を促し、第2次札幌市都市計画マスタープラン(平成28年策定)に定められた地域交流拠点にふさわしいまちづくりを進める。					
	他都市の状況	鉄道高架事業と一体で施行している土地区画整理事業としては、淡路駅周辺地区(大阪市施行 8.9ha 施行中)、富山駅周辺地区(富山市施行 10.4ha 施行中)、江別市野幌駅周辺(江別市施行 10.6ha 施行済)などがあり、全国の自治体で本事業と類似の事業が行われている。					
	市民参加の実施	■ 企画 □ 実施 □ 評価 □ 対象外					
令和5年度決算額	441,078 千円	うち特定財源	441,078 千円	正規職員業務量	10 人	工	
令和6年度予算額	936,000 千円	うち特定財源	936,000 千円	正規職員業務量	10 人	工	
令和6年度決算額	737,064 千円	うち特定財源	737,064 千円	正規職員業務量	10 人	工	
令和7年度予算額	645,000 千円	うち特定財源	645,000 千円	正規職員業務量	8 人	工	
指標	アウトプット 活動指標1	仮換地指定を行った土地の割合(面積比)の向上			という活動、業務を行うことで		
		令和5年度実績	令和6年度予定	令和6年度実績	令和7年度予定	令和8年度予定	令和9年度予定
		80.20%	99.80%	99.8	99.8	99.8	99.8
	アウトカム 成果指標1	土地使用収益を開始した土地の割合(面積比)の向上			という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和5年度実績	令和6年度予定	令和6年度実績	令和7年度予定	令和8年度予定	令和9年度予定
		30.50%	38.10%	42.4	88.3	89.1	89.1
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	地権者との協議が進んだことで仮換地指定やその後の移転補償が順調に進行した。今後も事業効果の早期発現に向けて土地使用収益開始を進めていく。					
	アウトプット 活動指標2				という活動、業務を行うことで		
		令和5年度実績	令和6年度予定	令和6年度実績	令和7年度予定	令和8年度予定	令和9年度予定
アウトカム 成果指標2				という状態にしたい、成果を挙げたい			
	令和5年度実績	令和6年度予定	令和6年度実績	令和7年度予定	令和8年度予定	令和9年度予定	
指標2の評価、未達理由、今後の考え方							
今年度の見直し内容	なし						
来年度以降の方向性	関連事業の進捗にあわせて、残りの道路整備等を進めていく。						